

## 第4回第4次日野市子ども読書活動推進計画策定委員会 議事要点録

日時 …… 令和元年10月30日（水）14：45～16：45

場所 …… 市役所506会議室

出席者 …… 委員13名（欠席3名）、事務局2名

### 配布資料

- ・資料1：第3回第4次日野市子ども読書活動推進計画策定委員会議事要点録
- ・資料2：「日野ヤングスタッフ事業」活動状況（平成27～30年度）について
- ・資料3：令和元年度子どもの読書に関する市民の活動について
- ・資料4：「基本理念・基本方針」案

### 1. 開会

- ・欠席委員の確認

### 2. 第3回第4次日野市子ども読書活動推進計画策定委員会議事要点録について

- ・修正点の確認

### 3. 議題

#### (1) 〈青少年〉〈地域・普及啓発〉の「第4次計画」取組検討

〈青少年〉

#### 【児童館】の取組

- ・小中学生の取組と同様に、児童館は来館する子どもの目的に合わせて蔵書を整え、今後も継続して取組んでもらいたい。

#### 【図書館】の取組

- ・多摩平図書館のヤングコーナーおよび高幡図書館のヤングスタッフ展示コーナーは、今後も継続して内容を充実させていく。
- ・現在ヤングコーナーを設置していない館にも、設置することはできないか。  
→青少年向けの本を置いても、読むのがその世代とは限らない。設置してどう運用するのか、模索中である。
- ・日野ヤングスタッフは、毎月1回会議を開催しており、その様子を報告する「ヤングスタッフ活動日誌！」を毎回図書館ホームページに掲載している。今年1月にリニューアルした図書館ホームページには、ヤングのページを開設し、日野ヤングスタッフの紹介やおすすめ本の紹介等を掲載している。『作家リスト』『BOOKWORM』等、推しの作家や本を紹介した案内も、継続して作成・発行している。
- ・実践女子大学学園祭「常磐祭」では、大学図書館内でのテーマ展示を例年行っている。今年度は、1年ぶりに実践女子大学生と日野ヤングスタッフによるビブリオバトルを開催する。また、市内中学校に出向いて、中学生への「ブックパレード」（おすすめ本紹介）を行っている。

## 【資料 1】

- ・日野ヤングスタッフの活動の周知を、もっと積極的に行った方が良いのではないか。周知の仕方でも工夫が必要ではないか。
- ・Twitter や Instagram 等の、SNS の活用はできないか。メールマガジンのように、お知らせが来れば、目に入りやすいと思う。ホームページや紙媒体といった、情報を取りに行かなくてはいけないものでは、青少年の目に届きづらいのではないか。  
→日野ヤングスタッフが、SNS を用いて自由に発信することにはリスクもあり、認めていない。  
図書館職員が、SNS を積極的に運用することも難しい。図書館ホームページをリニューアルした際、ヤングのページにのみ、イベント情報等を拡散できる様、SNS への共有ボタンを設置してみたので、活用してもらいたい。
- ・市内高等学校へは、利用案内の配布や日野ヤングスタッフ募集のチラシを送付している。アプローチ方法については、今後も検討していく。
- ・高校生がよく行く場所等をリサーチし、効果的なアプローチを検討してみてもどうか。例えば高等学校の最寄駅に近いスーパーのイートインスペースや、多摩平の森ふれあい館のブラウジングコーナーなど。
- ・図書館をインスタ映えスポットにするなど、今の高校生の目線に合わせた取組を考えていければよい。
- ・特別な支援を必要とする児童・生徒とその保護者への読書活動支援については、障害福祉課等とも情報交換を行い、図書館のサービスの周知を行うべきである。  
→障害福祉課窓口に来られた方に、図書館の障害者サービス利用案内を渡してもらおうなどの連携をしている。

### 【発達支援課】の取組

- ・青少年の利用は少ないが、保護者はエールを利用されている。保護者に対して、青少年へのおすすめ本を展示する等の取組をしていきたい。

### 【健康課】の取組

- ・健康課も青少年の利用は少ない。例えば、若年の妊婦の利用などでは、その方が必要とする情報提供に特化した対応となってしまう。機会があれば対応できる様準備していく。

### 〈地域〉

#### 【図書館】の取組

- ・子どもの読書に関わるボランティアの懇談会を開催し、各団体との情報交換を平成 29 年度から行っている。そこでの要望も受け、各図書館内に「子どもの読書に関する市民の活動について」の情報掲示スペースを設置し、地域の活動についての情報提供を拡充したいと考えている。
- ・ボランティア団体の文庫や読み聞かせなどの活動に、要望を受けて本の団体貸出も行っている。
- ・学校に読み聞かせに来ているボランティア団体の活動をよく聞くが、非常に素晴らしいと思う。学校とボランティア団体が継続して繋がっていける仕組みがあると良い。  
→ボランティア団体の活動は、それぞれが自主的にできる範囲で行っているものである。図書館では、ボランティア団体の状況を知り、学校等から問い合わせがあればボランティア団体を紹介するといった支援をしたい。

〈普及・啓発〉

【図書館】の取組

- ・子ども読書の日になんだイベント「としょかんおはなしピクニック」を毎年開催している。今年度は、ボランティア団体とも連携して、その活動紹介の展示やおはなし会も行った。
- ・「絵本読み聞かせ入門講座」を毎年開催している。
- ・平成 30 年度より、移動図書館ひまわり号が「旭が丘地区センター」への巡回を開始し、巡回日に合わせて、地域のボランティアの方による読み聞かせも行っている。今後も継続して、発展させていきたい。

(2) 〈基本理念・基本方針〉の確認

〈基本理念〉

- ・第 4 次計画に加えたいポイントは、“多様性”である。ひとりひとりの多様性を認め合いながら、ともに未来を創り出していくことを表す基本理念にしたい。
  - ・「みんなで」という言葉に惹かれる。誰にでも、という“多様性”の意味を込めた言葉を入れたい。
  - ・「ひとりで。そしてみんなで。本がつなぐ それぞれの未来」という言葉が、未来が広がっているように感じて、好ましい。
  - ・短く、インパクトがあるキャッチフレーズがよい。
  - ・「なにか見つかる」ではなく「きっと見つかる」という力強い言葉がよい。
  - ・明るい光が差しているというイメージが浮かんだ「本のむこうに」という言葉を入れたい。
  - ・“多様性”を「それぞれ」という言葉に込めて、子どもたちの「未来」につながるよう、「本のむこうに きっと見つかる それぞれの未来」という基本理念ではどうか。
- ⇒基本理念は、「本のむこうに きっと見つかる それぞれの未来」と決定。

〈基本方針〉

- ・“多様性”を、基本方針 1（案）の“すべて”の子どもたちが、身近に本と出あえる環境づくり」に表した。
  - ・基本方針 2（案）の、「子どもたちが受け身になるだけでなく、自ら読書の楽しさを発信できる取組」という文言の「受け身」という単語に違和感を覚える。前段は削除でよいのではないか。
  - ・基本方針 3（案）の「子どもと本をつなぐ活動をする人たちが連携する仕組みの整備」という方針は、既に「整備」は進んでいるため、さらに発展させた内容の文言を入れてもよいのではないか。
- ⇒基本方針 1～3 は、案の方向性で決定。一部文言を事務局で整理する。

6. その他（次回日程について）

- ・第 5 回策定委員会

令和元年 11 月 8 日（金）14 時 45 分～16 時 45 分 日野市役所 506 会議室

7・閉会